

大津市障害者自立支援協議会

2023 年度全体会報告会

配布資料



「あるサービスは調整する
ないサービスは創る」

2022 年度大津市障害者自立支援協議会 活動報告

昨年度は 22 の部会、8 つのプロジェクト会議、7 つの委員会を運営。延べ 205 回の会議及び研修会を開催。

1. おおつ障害者プランに掲載されている計画の実現に向けた取り組みを実施。

- ①2022 年度から基幹相談支援センター機能の面的体制として相談支援機能強化事業の受託事業所が 4 か所になり、同事業所 4 か所で相談支援の質の向上に向けたモニタリング検証を実施。基幹相談調整センターが 2023 年度から立ち上がる。
- ②地域生活支援拠点における精神分野と入所施設からの地域移行に関するワーキングの新規立ち上げ検討を実施。
- ③高次脳機能障害及び精神障害者の分野を超えた支援体制構築に向けた研修会を開催
- ④精神福祉部会にて精神障害者の地域包括ケアの体制の構築の検討を実施。研修会を開催。
- ⑤大津市医療的ケアシンポジウムを 1 月に開催

2. 障害福祉サービスの在り方に関する検討を実施

- ①グループホームの整備状況の変化に伴う住まいの場の取りまとめの方法の見直し
- ②日中サービス支援型ホーム評価会議の開催
- ③日中一時支援事業の今後に関して日中一時支援プロジェクトの立ち上げ検討を実施。
- ④障害分野における B C P 計画の策定に関して B C P 策定プロジェクトの立ち上げ、B C P 策定ツールを作成する。

(B C P とは業務継続計画のことを指します。地震などの大規模災害が起きた時にも企業や行政機関が事業を継続できるように行動する事や、通常業務の継続が困難になる事態が発生した場合でも復旧を速やかに遂行できるように事前に定める計画です。令和 3 年度の障害福祉サービス等報酬改定において、すべての障害福祉サービス等事業者は B C P を策定することや、その内容を従業者等に周知し、必要な研修及び訓練を定期的実施することが義務付けられました。)

3. 圏域内の障害福祉の人材の確保と育成に向けた取り組みを実施

- ①相談支援向け、サービス提供事業所対象に連携強化とスキルアップのための研修の実施
- ②高齢障害者の支援に関する研修会の開催
- ③権利擁護及び虐待防止に向けた当事者及び支援者のための研修活動等の実施

2023 年度大津市障害者自立支援協議会 活動方針

今年度 22 の部会、8 つのプロジェクト会議を運営予定

1. おおつ障害者プランに掲載されている計画の実現に向けた取り組みを行います。特に以下の点に関して重点的に協議を実施。

- ① おおつ障害者プランの見直しに関して、各部会で大津市の障害福祉施策や資源に関する現状評価と今後に関する提案の実施。
- ② 地域生活支援拠点運営会議にて誰もが地域で居住を確保して安心して暮らせるための地域生活支援拠点事業の拡充の検討。
- ③ 精神障害者の方や高次脳機能障害の方が地域で安心して暮らせるための地域包括ケアの体制の構築の検討の実施。
- ④ 重症心身障害児者及び医療的ケア児等支援協議会にて医療的ケア児等を支援するためのネットワークの構築と資源整備に向けた検討の実施。

2. 大津圏域における障害福祉の在り方及び支援の在り方に関して、プロジェクト会議を開催して検討の実施

- ① 大津市障害福祉計画・障害児福祉計画検討プロジェクト
大津市における第 6 期障害福祉計画及び第 2 期障害児福祉計画の内容の検討に関して検討を行います。
- ② 大津圏域の今後の日中一時支援の在り方に関して、日中一時支援プロジェクトにて検討を実施。

3. 圏域内の障害福祉の人材の確保と育成に向けた取り組みの実施

- ① 相談支援向け、サービス提供事業所対象に連携強化とスキルアップのための新人研修や中堅研修の実施
- ② 高齢障害者の支援に関する研修会の開催
- ③ 権利擁護及び虐待防止に向けた当事者及び支援者のための研修活動等の実施
- ④ ヨコヨコ LAB での福祉に関心を高めたり、福祉へのかかわりを増やしたり、福祉へのいろんなかかわりを拡大していく取り組みの実施。

大津市障害者自立支援協議会とは？

1. 自立支援協議会とは

i 設置根拠

第八十九条の三 地方公共団体は、単独で又は共同して、障害者等への支援の体制の整備を図るため、関係機関、関係団体並びに障害者等及びその家族並びに障害者等の福祉、医療、教育又は雇用に関連する職務に従事する者その他の関係者（次項において「関係機関等」という。）により構成される協議会を置くように努めなければならない。

前項の協議会は、関係機関等が相互の連絡を図ることにより、地域における障害者等への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関等の連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行うものとする。（「障害者総合支援法」より）

ii 役割と目的

自立支援協議会は、地域の関係者が集まり、個別の相談支援の事例を通じて明らかになった地域の課題を共有し、その課題を踏まえて、地域のサービス基盤の整備を着実に進めていく役割を担っています。

「協議会」は、要望や陳情の場ではありません。実認識のデータから出発して、課題達成のためのポイントはなにかを、地域（チーム）で考えだそうとするものです。「協議会」では、実効策をアイデアとして、全員で受け入れ、それらを原材料として、今までの活動を変更したり、柔軟な対応に変更することが大切です。

2. 大津市障害者自立支援協議会とは

「あるサービスは調整する・ないサービスは作り上げる」をスローガンにしています。障害児者の地域生活を支援するため、複数のサービスを適切に結びつけて調整するとともに、社会資源の改善及び開発を行う相談支援の中核的役割として設置されています。大津市においては、「大津市障害者サービス調整会議」をもとに平成18年10月からスタートしています。

i 大津市障害者自立支援協議会の目的は以下の通りです。

- ① 障害をもつ市民一人ひとりから集約されたさまざまな課題を共有すること
- ② 各施策が効果的に実施推進されるために関係機関をつなげること（連携）
- ③ 課題の解決に向けた新たな社会資源をつくること（創造）

ii 大津市障害者自立支援協議会の事業内容は以下の通りです。

- ①障害当事者のニーズ、地域資源の充足などの問題点の把握のための相談支援活動の実施
- ②在宅福祉サービスにおける問題点の整理及び調査・研究
- ③地域課題の解決に向けた協議および施策提案

iii 大津市障害者自立支援協議会の構成

大津市内の障害当事者、また障害者支援に関係する全ての事業所・行政機関が構成機関であると位置づけています。協議会を円滑に運営するために、構成員（機関）の中から各当事者団体・事業・機関を代表する委員を選出しています。

iv 大津市障害者自立支援協議会は様々な会議を開催することで事業の運営を行っています。

①個別支援会議（随時開催）

地域の障害のある方一人ひとりが直面している生活課題を解決するために関係者が集まって開かれます。相談支援機関が調整役となり話し合われる内容に応じて、本人をはじめ様々な機関・事業所から参加者を招集します。

②相談支援連絡会（毎月1回開催）

相談支援機関が集まり、個別の相談支援では解決できない課題を集約し、検討を行います。相談支援者がより良い支援を行うための情報交換、スキルの向上を目指した学習会も行っています。

③支援部会（毎月あるいは2か月に1回開催）

支援内容ごとに関係事業所や行政機関が集まり課題を集約し、検討を行います。支援内容に応じて18の部会を設定しています。

④定例会議（年4回開催）

地域の福祉・保健・医療等に関わる諸課題を、大津市の課題として全ての事業所・関係機関で共有する場です。

⑤プロジェクト会議（随時開催）

各会議では詳細な協議を行いにくい課題や緊急性の高い課題の解決のために期間を定めて集中的に協議します。自立支援協議会で今まで立ち上げてきたプロジェクト会議は以下の通りです。

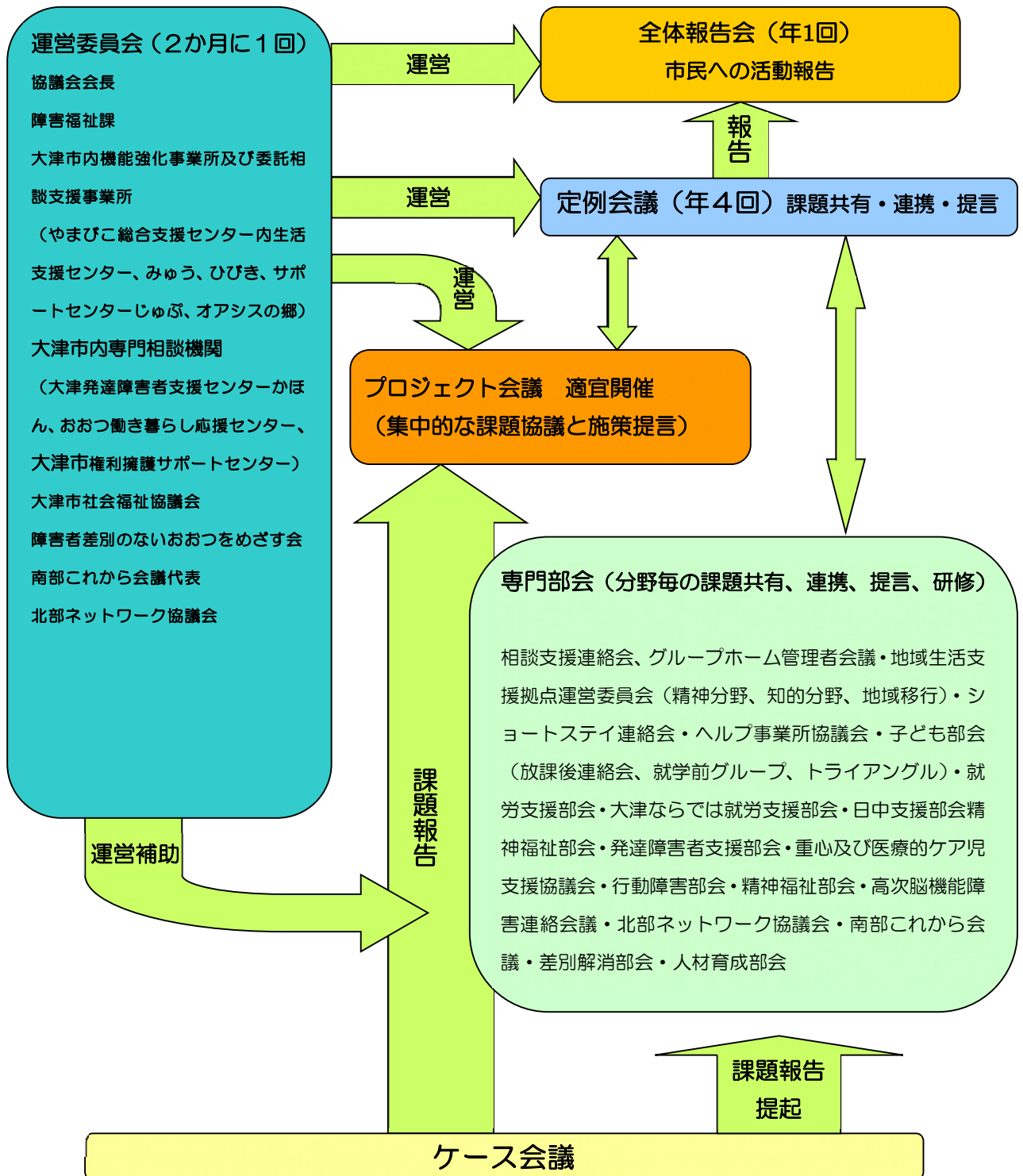
⑥全体報告会（年1回開催）

年に1回大津市内の障害福祉関係機関、周辺機関に声を掛けて集まっていただき、大津市障害者自立支援協議会の活動報告を行ないます。

v 課題解決の流れ

相談支援連絡会や各支援部会からあがってきた課題は、定例会議で報告し共有します。その後、定例会議での意見交換と、各部会等での詳細な協議を繰り返し、課題解決のための具体策を作成します。必要に応じてプロジェクト会議による協議、解決策の作成も行います。それらの具体策は定例会議で最終確認され、大津市障害者自立支援協議会からの取り組みとして既存の社会資源の連携強化を図り、新たな社会資源創造のために市や県行政施策への提案・提言につなげていきます。

大津市障害者自立支援協議会の体系



2022 年度自立支援協議会活動報告

1. 定例会議及び運営委員会活動報告

定例会

報告者：松岡 啓太（自立支援協議会事務局）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・年 4 回開催。昨年度はコロナ感染拡大で 1 回中止する。 ・地域の福祉・保健・医療等に関わる諸課題を、大津市の課題として全ての事業所・関係機関で共有する。
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・9 月 30 日に集合で開催、23 名参加。研修を行う。内容は「会議を円滑にするコツ」講演とグループワーク。講師：山口 浩次氏（大津市社会福祉協議会） ・1 月 20 日にオンラインで拡大定例会議を行う。会場 8 名、オンライン 47 名参加。 ①協議会会長挨拶 ②大津市のグループホームの状況と協議会の取り組み ③地域生活拠点運営委員会各ワーキングの報告（・しが夢翔会の多機能拠点施設の整備に関する報告・入所施設から地域移行に関する報告・精神分野の取り組みに関する報告） ④三次機関からの報告（近江学園の現状と建て替えについて） ⑤障害福祉課の業務内容と現状の報告 ・3 月 24 日にオンライン開催、23 人参加。1、会長挨拶 2、次年度障害福祉の予算に関する説明 3、大津市障害者プラン見直しに関する説明 4、基幹相談支援センターに関する説明 5、地域生活拠点事業に関する説明 6、令和 3 年度大津市の障害者虐待防止の状況の報告 7、子ども部会報告 8、次年度予定 の 8 項目について報告する。

運営委員会

報告者：松岡 啓太（自立支援協議会事務局）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・偶数月の第 4 金曜日の午後に開催 ・大津市の資源整備及び協議会の運営に関する意見交換を行う
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会会長、相談支援機能強化事業所（生活支援センター、みゆう、じゅぷ、オアシスの郷）、委託相談支援事業所代表（ひびき）、大津市社会福祉協議会、おおつ働き暮らし応援センター、伊香立の杜（北部ネットワーク代表）、共生シンフォニー（南部これから会議代表）、美輪湖の家大津（バックアッププロジェクト代表）、におの浜福祉協会（おおつならでは就労支援代表）、障害者差別のないおおつを目指す会（差別解消部会代表）、大津市発達障害者支援センターかほん（発達障害者支援部会代表）、大津市権利擁護サポートセンター
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> *4 月 15 日に集合で開催。14 人参加。今年度の協議会の体制及び重点報告の確認を行い、各部会での議論の進捗の共有と意見交換を行う。 *6 月 17 日にオンラインで開催、17 名参加。 ①情勢報告（総合支援法の見直しに関して） ②7 月の定例会に関して ③県自立支援協議会、地域自立支援協議会報告の共有 ④地域生活拠点運営会議 ⑤部会及びプロジェクトの報告 ⑥資源整備状況 ⑦その他について話し合う。運営委員会後に日中支援

	<p>型 GH の評価会議を行う。</p> <p>*8月19日にオンライン開催、21名参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの感染状況に関しての情報共有、大津市の住まいの場のありかたに関して意見交換を行う。 <p>*10月21日にオンライン開催、20名参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情勢報告と大津圏域での検討課題について話し合う。また、基幹相談支援センター及び地域生活支援拠点の整備、自立支援協議会の次年度以降の在り方に関して話し合う。 <p>*12月16日にオンラインで開催、17名参加。</p> <p>①総合支援法の改正に関して ②自立支援協議会の次年度以降の在り方に関して ③大津市障害者プランの見直しに関して ④相談支援連絡会より「不登校と放課後デイサービス利用の関係性」について ⑤各部会より報告 ⑥定例会に関して ⑦資源整備に関して話し合う。</p> <p>*2月17日にオンライン開催、21名参加。</p> <p>①次年度の障害福祉計画の見直しに関して ②地域生活支援拠点の新規事業に関して ③次年度の相談支援体制に関して ④各部会より報告 ⑤ 3月の定例会議に関して ⑥次年度の運営委員会及び定例会の開催に関して</p>
--	---

2. 部会報告

① 相談支援連絡会

報告者：坂本彩（自立支援協議会事務局）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第2火曜日の午前に開催 ・偶数月は指定特定相談支援・障害児相談支援事業所が集まり、奇数月は委託相談支援事業所が集まり、行政からの伝達事項の共有、各相談機関の実績や課題の報告を行う。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・委託相談支援事業所15か所、指定特定相談支援事業所5カ所、大津市発達障害者支援センターかほん、おおつ働き暮らし応援センター、大津市聴覚障害者相談員、大津市障害者虐待防止センター、障害福祉課、
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・4月12日に集合会議で開催する。18名参加。 自己紹介を行う。障害福祉課より日中一時支援の申請書の書式と家事援助について説明、自立支援協議会から報告を行う。滋賀県障害者自立支援協議会の大平氏よりモニタリング検証についての説明が行われる。 ・5月10日に集合会議を開催（委託相談・専門機関）。19名参加。 各事業所の計画相談の対応状況や新規受け入れ可能件数の報告及び、重点ケースの報告を行う。 ・6月14日にオンラインで開催、21名参加（委託+計画）。障害福祉課、自立支援協議会より報告を行う。各事業所からの状況報告を行う。 ・7月12日に集合とオンライン会議を開催。19名参加（委託・専門相談）。 大津市総務部危機・防災対策課より、個別避難計画作成同意の促しについて報告する。また、障害福祉課、自立支援協議会より報告する。各事業所の対応状況や新規受け入れ可能件数の報告及び、重点ケースの報告を行う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・8月9日にオンライン会議で開催、20名参加（委託・計画）。障害福祉課よりモニタリング検証についての意見交換を行う。また、自立支援協より新1年生放課後説明会について、当事者活動のサポートについて、住まいのとりまとめについて、資源整備情報提供の報告を行う。各事業所の状況（重点報告は各事業所より1つ）を共有し、計画相談の新規及び移行利用者の調整状況について報告する。 ・9月13日に集合とオンライン会議で開催、17名参加。委託相談・専門相談。障害福祉課より住まいの取りまとめ会について報告する。ラシエル南志賀から説明。また、各事業所の計画相談の対応状況や新規受け入れ可能件数の報告及び、重点ケースの報告を行う。 ・10月11日に集合開催（委託・計画）する。23名参加。障害福祉課から就労アセスメントについて説明する。また、自立支援協議会から当事者活動のサポート、住まいの場のとりまとめ会に関する報告と資源整備に関する報告をする。各事業所の状況について重点報告を行う。 ・11月15日にオンラインで開催、20名参加。各事業所の計画相談の対応状況や新規受け入れ可能件数の報告及び、重点ケースの報告を行う。資源整備、住まいの場の新しいエントリーシートの情報共有をする。 ・12月13日に集合で開催する。（委託・計画）15名参加。相談支援事業所情報シートの作成、BCP計画について、住まいの場の取りまとめについて、報告する。また、共生型サービスのニーズ調査を相談支援を対象に11月実施した件についての報告を行う。不登校と放課後デイサービスの利用の在り方について話し合う。 ・1月10日に集合会議を開催。20名参加。委託+計画。各事業所の計画相談の対応状況や新規受け入れ可能件数の報告及び、重点ケースの報告を行う。また、「高齢障害者プロジェクト・具体的な支援の検討グループ報告会」の案内、BCP計画、住まいの場、不登校と放課後デイサービス利用の在り方について報告する。 ・2月14日にオンライン開催（委託・計画相談）、23名参加。障害福祉課、自立支援協より連絡。BCP計画の策定に関するミニ学習会を開催する。重点報告（彩華・ここステップ・トモ・やまびこ園・やまびこ支援センター・いるか・木戸・ブリッジ・ひびき）を行う。 ・3月14日に集合で開催（委託相談・計画相談）、21人参加。障害福祉課より算定表の見直しに関して説明する。また、自立支援協より住まいのとりまとめと資源整備状況に関する報告をする。各事業所より重点報告を行う。
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員の不足によるセルフプラン作成者の増加。約1000人が希望しないセルフプランになっており、サービス利用者の3割ほどとなっている。特に精神障害と障害児のセルフ率が高くなっている。R2年からの新規事業「大津市指定特定相談支援事業所等体制整備補助金」により、相談員が少しずつ増えて、若干のセルフプラン利用者の減少が見られ始めている。継続して相談支援専門員を増やすとともに、相談支援の援助技術の向上が課題。 ・要保護児童や要支援児童の支援に関して児童福祉分野や学校との連携体制が十分にで

	きておらず、相談支援専門員やサービス提供事業所が困るケースがある。
--	-----------------------------------

② 大津市ヘルプ事業所協議会

部会長：大岡 泰成（明日香の里）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヵ月に1回奇数月の第3木曜日の午前に開催。 ・大津市内で障害分野でヘルプサービスを提供している居宅介護事業所が参加。大津市内の事業所の現状と課題を共有とヘルパーのスキルアップを目的として研修会を実施。
参加者	・大津市内をサービス提供地域とする居宅介護事業所（常時15事業所程度が参加）
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・7月14日集合開催、22人参加。虐待防止法に関する基礎研修「管理者としてどう現場職員に伝えるか」講師：伊関 信博 様（大津市障害者虐待防止センター）。その後、グループワークを行う。 ・9月15日にオンライン開催、16人参加。精神障害者の対応に関する研修を行う。講師：小西晶也氏（障害者相談・生活支援センター やすらぎ）、清水康夫氏（医療法藤樹会 訪問看護ステーション樺）また、各事業所の困りごとを共有し、意見交換を行う。 ・1月19日にオンライン開催、15名参加。BCP計画の策定に関しての事例検討を行う。また、障害福祉計画の見直しに関して、喀痰吸引のできるヘルパーの拡充に関して協議する。事業運営に関しての情報交換、コロナ陽性者支援に対する情報交換を行う。 ・3月16日に集合で開催、13人参加。各事業所の状況報告と、協議会より福祉計画の見直しに関して、BCP計画の策定に関して報告をする。また、移動支援プロジェクトからの報告と、次年度の取り組みに関して話し合う。
課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・重度訪問介護や行動援護の支援を実際に提供してくれる事業所が不足している。特に夜間や早朝にサービスを提供できる事業所が少ない。 ・車両送迎の可能な事業所の数が少ない。特に車椅子の方が利用できる事業所が少ない。 ・ヘルパーの人材不足 ・移動支援における夜間早朝加算、緊急時加算、特別地域加算の制度化

③ グループホーム管理者会議

部会長：小嶋 千亜希（おおつ福祉会ホーム）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・2か月に1回、奇数月の第2木曜日に開催 ・市内のグループホーム事業所の責任者が参加以下のことを議論する。 <ul style="list-style-type: none"> ① 事業所間の情報共有 ② 入居者支援に対する職員の課題共有 ③ ホーム運営についての課題 ・部会の活性化のために事務局会議を設定。事務局は部会長、夢の木、しが夢翔会、協議会事務局の5名。
参加者	大津市内のグループホーム、障害福祉課管理係、事務局
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・5月12日にグループホーム管理者会議を集合開催、17名参加。各事業所の情報共有と、今年度取り組みたいことや、受けたい研修の話し合いを行う。 ・7月14日にオンライン開催、12名参加。グループホーム情報シートについての報告と、各事業所の情報共有を行う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・9月8日にオンライン開催、9名参加。グループホーム情報シートについて話し合う。また、各ホームからの報告とやまびこゼミの案内をする。 ・11月10日に集合開催、22名参加。総合支援法の見直しを受けて、各グループでディスカッションを行う。各ホームからの報告を行う。 ・1月12日にオンライン開催、19名参加する。事務局からのBCP計画についての報告と、各ホームからの報告（各事業所でのコロナ感染状況も含む）をする。 ・3月9日にオンライン開催、15人参加。障害福祉課より物価高騰と燃料高騰に伴いGHの費用設定を変更する場合の手続きについて報告する。また、障害福祉計画についてと、各ホームからの報告を行う。
課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の高齢化に伴う、医療面の対応や日中支援の対応に関して、小規模な職員集団の中で関係機関と連携しながら、どう支援していくか？ ・制度設計上「正規の生活支援員」＋「非正規の世話人」という職員体制で支援をしている中で、世話人の高齢化に伴う新たな支援者の確保と育成の課題。小集団かつ一人職場に近い環境で、支援者の支援の統一や虐待防止及び権利侵害防止に向けた取り組みをどう行っていくか？ ・介護保険、医療との連携。

④ ショートステイ連絡会

部会長：木村 学（むくの木）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・奇数月第2水曜日の午前に場所は持ち回りで開催 ・事業所間での情報共有を行う。
参加者	むくの木・ステップ広場ガル・伊香立の杜ショートステイ・びわこ学園医療福祉センター 草津・ぽのハウス・ラシエル南志賀
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・5月8日：各事業所の現状と課題の共有と今年度の運営に関して議論する。 ・7月10日、9月11日：各事業所の現状確認と課題の共有を行う。 ・11月13日： ショートステイの現状と課題の共有をおこなう。 ・1月23日： ショートステイの現状と課題の共有をおこなう。 ・3月11日： ショートステイの現状と課題の共有をおこなう。
課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数や契約者が増加してきている。計画相談によるニーズの掘り起こしによって増えてきている？利用を受けきれない状況になっている。 ・家族状況がかなり厳しい状況の方の利用が増えてきている。利用者も親とも高齢なケースも多く、ショートだけでなく将来の住まいの場の確保の検討が必要。 ・常時マンツーマン対応が必要な方のショートステイでの連泊での受け止めが単独の事業所だけでは人員体制的に困難。

⑤ 地域生活支援拠点運営会議知的分野ワーキング

部会長：木村 和弘（ステップ広場ガル）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・偶数月の第4火曜日の午前に開催 ・知的分野における地域生活支援拠点事業に登録している事業所の利用者対応状況の共有を行うと共に、び多機能地域生活支援拠点及び緊急時対応の体制整備の協議を行う。
------	--

参加者	ステップ広場ガル、伊香立の杜ショートステイ、むくの木、生活支援センター、ひまわりはうす、みゅう、ひびき、そうだんオフィス、障害福祉課
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・9月5日：地域生活支援拠点の要綱及び運営の在り方の検討を行う。 ・10月16日：住まいの場のとりまとめのリストの現状報告と他の自治体の先行事例の読み合わせと意見交換を行う。 ・12月18日：事業所の緊急時対応の状況を確認した後、来年度から実施予定の地域生活支援拠点の運営の在り方に関して意見交換を行う。
課題など	・地域生活支援拠点に登録する相談支援事業所及び短期入所事業所の拡充

⑥ 地域生活支援拠点運営会議精神分野ワーキング

部会長：種村 直典（オアシスの郷）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・偶数月の第2金曜日の午前に開催 ・「精神障害者にも対応した～地域包括ケアシステムを見据え、「自立生活援助事業」と「地域定着支援事業」を活用した単身生活を送る方のための24時間サポートセンターの設置と地域移行して単身生活を送るにあたっての「地域生活アセスメント委員会」の設置について検討を行う。
参加者	夢の木、オアシスの郷、共栄サポート、障害福祉課、宇治おうばく病院、湖の子会相談支援事業所トモ、滋賀里病院、大津市保健所保健予防課
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・8月19日：精神分野における地域生活支援拠点事業の在り方に関して意見交換を行う。 ・10月14日：24時間サポートセンターの立ち上げに関して意見交換を行う。 ・12月8日：「地域生活アセスメント委員会」の立ち上げに関して意見交換を行う。 ・2月10日：「地域生活アセスメント委員会」のアセスメントシートの確認と24時間サポートセンターの中身に関して意見交換を行う。
課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害の方の地域生活を送るための医療と福祉と地域との連携強化 ・単身生活をする方を支えるサポートセンターの構築にかかる人材の確保

⑦ 地域生活支援拠点運営会議地域移行ワーキング

部会長：木村 和弘（ステップ広場ガル）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・2か月に1回程度開催 ・入所施設利用者の重度高齢化の中で今の暮らしの再検証を行うと同時に本人の意思決定支援を尊重しながらよりよい暮らしの在り方の検討と必要に応じて本人のケアに適した移行先の検討を行う。
参加者	ステップ広場ガル、みゅう、障害福祉課、
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・5月25日 コアメンバー会議開催。地域移行の目的確認。意思決定支援について情報共有。地域移行に挙げる利用者の選定と確認。高齢利用者3～4ケースを対象とする。 ・6月20日 コアメンバー会議開催。具体的に取り組むケースの情報共有を行う。 ・9月7日 第1回地域移行ワーキング開催。入所施設の医療課題について情報共有を行う。 ・12月28日 第2回地域移行ワーキング開催。入所施設の利用者も地域の中で暮らす市民として捉えて本人のニーズに基づいて地域の資源が利用できないか検討する。

課題など	・障害者支援施設は職員体制も含め看取りの機能をもっていない。看護配置基準も厳しい状況。施設入所支援の中での医療支援のどこまで提供するのか、それによって、人員体制の強化(看護師等の人員に対する補助等)を課題としてあげるのかも変わる。
------	---

⑧ 就労支援部会

部会長：平山真司（咲くら）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・奇数月の第4木曜日の16時から開催 ・就労支援事業所のスキルアップと連携強化を目指した研修会を開催。また、進路調整に関する共有や就労アセスメントの在り方に関して検討を行う。 ・部会の活性化のために事務局会議を設定。事務局は部会長、北大津養護学校、障害福祉課、社会就労センターこだま、れもん会社、マノーナファーム、事務局の7名。
参加者	・おおつ働き暮らし応援センター、障害福祉課、北大津養護学校、草津養護学校、北大津高等養護学校、滋賀大附属特別支援学校・大津市内就労移行支援事業所、大津市内就労継続支援事業所
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・7月28日オンライン開催、25名参加。滋賀県障害福祉課 今西様より「障害者の就労定着と現状の課題と方向性」についての報告と、質疑応答を行う。また、相談員との連携について話し合う。 ・9月22日に集合とオンライン開催、35名参加。グループワークに向けての話し合いとグループワーク（今回は相談員の話の聞くというスタンスで50分）を行う。 ・10月27日に進路調整会議を開催、35名参加。各学校より進路に関する報告と、通所事業所から報告（事業所名、受け入れ状況、課題）を行う。また、進路調整に関する意見交換を行う。 ・11月24日に集合とオンライン開催、9名参加。9.10月の全体会の振り返りを行う。働き暮らし応援センターより報告を行う。 ・12月22日に全体会を集合とオンラインで開催、30名参加。大津市事務サポートセンターより「①大津市障害者就労体験事業の報告について ②大津市障害者雇用状況について」の報告を聞く。また、事業所のBCP計画作成について事務局より報告する。 ・3月16日に集合とオンラインで開催、48名参加。各事業所紹介、新規参加事業所リタリコ。大津市事務サポートセンター仲野様より、事務サポートセンター会計年度任用職員の募集についてと、働き暮らしセンターより、新規求人募集について報告する。また、虐待防止センターの伊関様より講義を受け、グループワークを行う。

⑨ 大津ならではの就労移行支援部会

代表：白杉 滋朗（におの浜スコラ）

部会等	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月～3ヶ月に1回程度の割合で開催。 ・大津市内のおおつならではの就労移行支援の事業に取り組む事業所と特別支援学校の進路担当者が集まり、ニーズ把握や各事業所の事業内容や利用者状況の共有を行う。
参加者	・おおつ働き暮らし応援センター、障害福祉課、北大津養護学校、草津養護学校、滋賀大附属特別支援学校、れもん会社、くれおカレッジ、におの浜スコラ、きずな
開催状況	・6月30日にオンラインで開催する。11名参加。おおつならではの各事業所と各学校

	<p>からの報告を行う。また、今後の大津ならではの就労移行支援の展開に関して話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10月25日に集合とオンラインで開催する。12名参加。各事業所より現状と課題と今後の展望について話し合う。また、働き暮らし応援センターからの報告と今後の会議内容について話し合う。 ・ 2月28日に集合とオンラインで開催、12名参加。各事業所より現状(移行者・新規利用者)と次年度に向けて話し合う。また、各高等部から2023年度の概況の共有を行う。今後の会議内容について話し合う。
検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大津ならではの就労支援の意義や効果を本人や家族にどうアピールしていくか。

⑩ 日中支援部会

部会長：高雄 順子（さくらはうす）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2ヶ月に1回開催。偶数月の第4月曜日の16:00～ ・ 大津市内の生活介護事業所が集まり、各事業所の利用者状況や運営課題の共有、各事業所の実践報告、生活介護事業所の職員向けの研修会を開催。生活介護事業所のネットワークの構築と支援者の育成を図る。
参加者	大津市内の生活介護事業所、北大津養護学校、草津養護学校、滋賀大付属特別支援学校、障害福祉課
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月30日オンラインで開催、21名参加。アンケート実施結果について等各事業所からの報告と、各学校からの進路等に関する報告を行う。また、事業所における送迎についての課題等と、今年度日中支援部会で取り組みたいことについて話し合う。 ・ 6月27日に集合とオンラインで開催、14名参加。虐待防止研修（60分）を行う。また、事業所の状況の報告と今年度日中支援部会で取り組みたいことについて話し合う。 ・ 8月22日にオンライン開催する。21名参加。講義『記録とアセスメントについて』講師：さくらはうす・久保多信幸氏。講義の質疑応答を行う。 ・ 10月24日にオンライン開催する。17名参加。事業所報告と『生活介護事業所の社会参加について』（まちかどプロジェクト：武友氏）の報告と質疑応答を行う。 ・ 12月19日に開催予定だったが、延期になる。 ・ 2月27日にオンライン開催、15名参加。自己紹介と各事業所の状況を報告する。自己覚知と現場のコミュニケーションについて（さくらはうす 高雄様より）

⑪ 精神福祉部会

部会長：西川 健一（おおつ働き暮らし応援センター）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2ヶ月に1回、奇数月の第2金曜日の午後で開催 ・ 部会の活性化のために事務局会議を設定。事務局は部会長、保健所保健予防課、障害福祉課、オアシスの郷、事務局の6名。 ・ 精神障害の方を取り巻く地域の課題を共有と精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた検討を行う。
------	--

参加者	ほわいとクラブ・リぼーんスイッチ・ぽっとらっく・若鮎の家・蓬萊の家・夢の木・ぴあ ☆らぼ・訪問看護ステーションひまり・琵琶湖病院・滋賀里病院・瀬田川病院・湖南クリ ニック・精神医療福祉センター・障害福祉課・大津市保健所保健予防課・オアシスの郷・ おおつ働き暮らし応援センター・大津若者サポートステーション
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・5月13日にオンライン開催。16名参加。おおつ働き暮らし応援センターと医療法人藤樹会（滋賀里病院、デイケア、マトリカリア）の取組みの報告及び大津市障害福祉課より精神障害の方の家事援助の取り扱いに関して説明を行う。 ・7月29日にオンライン開催。滋賀県精神保健福祉センター所長の辻本哲史先生をお招きして、「地域で安心して暮らせる精神保健福祉体制に向けた検討会構成員体験談」の話しを聞き、参加者でグループワークを行う。 ・11月11日にオンライン開催、14名参加。自己紹介と事業所の近況報告を行う。また、ラシエル南滋賀の紹介とヘルプ事業所協議会での精神障害者の支援に関する研修会の取組みの報告を行う。 ・1月13日にオンライン開催、18名参加。自己紹介と事業所の近況報告を行う。また、大津市障害福祉計画の見直しに向けた取組み（精神障害のサービス利用状況）について話し合う。 ・3月10日にメンタルヘルプに関する地域包括ケアの研修会を行う。38名参加。藤井千代先生（国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部）をお招きして「精神保健福祉法改正と精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」に関する講義を聞き、その後参加者でおおつならではの精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの在り方に関してグループワークを行う。
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間のサポート体制が不十分で地域生活における緊急時対応が課題。 ・精神障害の方に対応する相談支援専門員が不足している。

⑫ 発達障害者支援部会

部会長：小崎太陽（発達障害者相談支援センターかほん）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・2か月に1回、奇数月の第一金曜日に開催 ・部会の活性化のために事務局会議を設定。事務局は部会長、すこやか相談所、協議会事務局の6名。 ・今年度は以下の課題を重点的に検討。 <ul style="list-style-type: none"> ① 連携の質を高め、他分野・他事業所を知るための参加している各事業所からの取り組み報告 ② 高機能発達障害の方の対応に関して参加している機関より「ウチじゃない?」「どこに相談すれば?」「頓挫する」事例集約と、対応検討（個別に、および、圏域として）
参加者	発達障害者支援センターかほん・子ども発達相談センター・滋賀県発達障害者支援センター・障害福祉課・健康推進課・オアシスの郷・やすらぎ・生活支援センター・大津若者サポートステーション・おおつ働き暮らし応援センター・滋賀県引きこもり支援センター・北大津養護学校・草津養護学校・滋賀大附属特別支援学校・比叡山高校・放課後等デイサービス「フレンズ」・花きりん・セレンディップ・ハーフステップ

開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月13日集合で開催、18人参加。昨年度の部会の取り組みの振り返りと課題の整理を行う。また、今年度の部会の活動計画の検討をする。 ・ 7月1日にオンラインと集合で開催、20名参加。自己紹介、事務局からの報告、情報共有を行う。また、滋賀県立精神医療センターの取り組みの報告と意見交換を行う。 ・ 9月2日オンライン開催、21人参加。8050問題について居宅介護支援事業「輝楽里」の主任介護支援専門員である堀内敦司氏をお招きして『ケアマネからみた8050問題～経験した事例から考える』というタイトルでお話しを聞き、参加している各事業所で抱えている8050問題について話し合う ・ 11月11日に集合とオンラインで開催、23人参加。自己紹介（新規事業所：こころベース）と国・県・市全体の状況共有を行う。また、ジョブリード大津の管理者より『就労支援に必要なこと』に関する報告をしてもらい、参加者による質疑応答や感想などおの意見交換を行う。 ・ 1月6日に集合開催（明日都5階会議室）、22名参加。自己紹介と国、県、市全体の状況共有をする。また、各機関で道筋が見えないケースの集約を行い、質疑応答、感想などを話し合う。 ・ 3月3日に集合で開催、20人参加。自己紹介と国、県、市、全体の状況の共有をする。また、各機関で道筋が見えないケースの集約と、来年度取り組みたいこと等について話し合う。
課題等	

⑬ 高次脳機能障害連絡会議

報告者：松岡啓太（自立支援協議会事務局）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年4回程度開催 （1）連絡調整会議（ネットワーク会議）の開催等 圏域内の医療（リハ含む）・介護・保健・福祉・労働等の関係機関の参画による連絡調整会議を定期的で開催し、高次脳機能障害を持つ当事者・家族を支えるための圏域内の課題整理や解決に向けた方策の検討を行う。 （2）研修会・事例検討会の開催等 高次脳機能障害の支援に向けた人材育成や啓発を目的とした研修会、支援の向上のための事例検討会等を実施する。
参加者	<p>オアシスの郷、じゅぷ、相談支援事業所ぐっど、おおつ働き暮らし応援センター、大津市介護支援専門員協会、大津市権利擁護サポートセンター、大津赤十字病院 琵琶湖中央リハビリテーション病院、滋賀医大病院、まちかどプロジェクト、いしづみ 滋賀県むれやま荘 高次脳機能障害友の会、大津市障害福祉課、大津市保健所保健予防課、県立リハビリテーションセンター、滋賀県高次脳機能障害支援センター、県障害福祉課</p>
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> （1）連絡調整会議（ネットワーク会議）の開催等 ・ 4月26日に集合とオンラインで開催、集合13名・オンライン21名参加。前年度の会議の振り返りと今年度の事業展開について話し合う。また、事例検討と医療機関との

	<p>連携について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8月3日に集合とオンラインで開催、権利擁護サポートセンターと相談支援事業所からの事例に検して意見交換を行う。 ・ 2月8日に集合13人とオンライン5人で開催する。R4年11月23日（水）開催研修の振り返りをする。また、相談支援事業所からの事例に関する検討及び次年度の取り組みについて話し合う。 ・ 3月22日に事務局と大津市ケアマネ協のケアマネージャーとで介護保険からみた高次脳機能障害の方の支援に関する意見交換を行う。 <p>（2）研修会・事例検討会の開催等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11月23日に研修を行う。70名参加。第1部 講演「脳卒中・頭部外傷による高次脳機能障害について～果たしてどんな違いがあるのか～」大津赤十字病院脳神経外科医長 林 晃佑先生 第2部 実践報告：障害福祉現場から「ケースを通じて社会資源を知ろう ～障害福祉における高次脳機能障害の方の就労支援に関して～」・滋賀県立むれやま荘・滋賀県高次脳機能障害支援センター・マノーナファーム・働き暮らし応援センター西川氏より実践報告を行う。
--	---

⑭ 行動障害部会

部会長：三ツ谷尚（伊香立の杜）

副部会長：村上貞治（いちばん星）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2ヶ月に1回、奇数月の第4月曜日の夕方に伊香立の杜で開催 ・ 部会の活性化のために事務局会議を設定。事務局は部会長、北大津養護学校、いちばん星、協議会事務局の4名。 ・ 「大津・湖南行動障害支援ネット」の後を受けて、平成24年にスタート。 <p>①議論している内容</p> <ul style="list-style-type: none"> i - ケース検討と共有 ・ 参加事業所でのいわゆる困難ケースに関して、アセスメントや支援のアイデアについて相談の場となる。 ii - iで用いる部会の共通フェイスシート書式の作成・活用と、その過程での支援観共有・統一 iii - 滋賀県行動障害ネットワークの内容共有とそれを受けた圏域での議論 ・ 別紙参照：大津地域の「行動障害支援」に関する課題整理票
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伊香立の杜・大津市発達障害者支援センターかほん・ステップ広場ガル ・ ぽかぽか・いちばん星・さくらはうす・木輝・唐崎やよい作業所・愛育苑・近江学園・三雲養護学校・北大津養護学校・草津養護学校・滋賀大附属特別支援学校 ・ みゆう・ひびき・生活支援センター・大津市障害者虐待防止センター
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月9日オンライン開催、13人参加。自己紹介とケース関係の情報提供・検討・相談をする。また、施設でのコロナ感染クラスターを受けて振り返りと、情勢・施策・情報提供をする。

	<ul style="list-style-type: none"> ・7月11日オンライン開催、14人参加。事例検討と、各機関より情報提供・検討・相談をする。 ・9月12日にオンライン開催、16人参加。事例検討を行う（北大津養護・草津養護・IL Garden・愛育苑）。各機関より情報提供及び意見交換を行う。 ・11月14日にオンライン開催、28人参加。ケース関係の情報提供・検討・相談（IL Garden、愛育苑、北大津養護学校、草津養護学校のケース）を行う。また、国・全県・市全体の状況の共有を行い、各事業所より相談報告を行う。 ・1月16日にオンラインで開催、28名参加。ケース関係の情報提供・検討・相談を行う。ILGarden 奥村様・愛育苑 川村様・北大津養護学校・草津養護学校より報告。また、国、県、市全体の状況の共有と、各事業所より、相談・報告をする。 ・3月13日にオンライン開催、10人参加。ケース関係の情報提供・検討・相談を行う。また、国、県、市全体の状況の共有と、各事業所より、相談・報告をする。次年度の活動について話し合う。
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・行動障害・重度タイプの人に関係した日中事業所不足の見込み。また、進路調整や既卒者の事業所変更にかかること。 ・行動障害・重度タイプの人に関係した住まいの課題。具体的には、入所施設や行動障害に一定対応可能なホームの不足。 ・行動障害支援に関する支援の質向上や人材整備・育成

⑮ 重症心身障害児者及び医療的ケア児支援協議会

部会長：飯田 京子（知的障害児者地域生活支援センター）

部会等	<ul style="list-style-type: none"> ・大津市において医療機関と福祉機関の連携の充実を図り、医療的ケアの必要な方が地域で安定して暮らすための構築を図るための共有と協議の場として開催。福祉、教育、保健、医療等それぞれの立場の方に参加してもらっています。なお、協議会では、全体会と3つのワーキング会議（①進路調整 ②障害福祉サービス ③医療連携）を開催して下記5つの取り組みを実施。 ① 地域の医療的ケア児及び重症心身障害児者の実態調査の実施 ② 個別ケースの事例検討会の実施 ③ 制度施策に関する研修 ④ 参加している、関係機関からの現状と課題の報告、課題に対する検討 ⑤ 地域への広報啓発活動
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉課、健康推進課、学校教育課、生活支援センター、やまびこ相談支援事業所、大津市内の重症心身障害者が利用している生活介護施設、びわこ学園医療福祉センター草津、訪問看護ステーション、放課後等デイサービス、北大津養護学校及び草津養護学校の進路担当、バクバクの会。
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児者を地域で支援する看護師のネットワーク構築事業企画会議を6月6日にオンラインで開催、7名参加。自己紹介、本企画案の説明、今後の取り組みの意見交換を行う。 ・医療連携ワーキングを6月13日に集合・オンラインで開催、16名参加。医療的ケア児者に関するアンケート調査に関する説明と参加者からの大津圏域の医療的ケア児の支援

に関する現状報告と生活支援センターの事例に関する検討会を行う。

・福祉サービスワーキングを7月6日にオンラインで開催、16名参加。事業所の近況報告（運営状況、医療的ケアの利用者の対応や運営での課題）と施設入浴支援の在り方に関して話し合う。また、放課後等の支援に関してと、病院の送迎に関して、医療的ケアを要する方の余暇支援に関して、緊急時の対応等に関して話し合う。

・進路調整ワーキングを9月6日に集合とオンラインで開催、12名参加。各生活介護事業所の現状報告と、各学校より重心及び医ケア児の卒業後の進路に関する現状報告を行う。また、進路調整と生活介護運営に関する意見交換を行う。

・福祉サービスワーキングを10月3日にオンライン開催する。14名参加。各事業所における最近の状況と支援での課題報告を行う。また、重心及び医ケア児者の実態調査アンケートの実施とシンポジウムの開催に関して話し合う。

・アンケートシンポ事務局会議を10月21日に開催する。14名参加。シンポジウムの内容と広報、啓発を行う。また、アンケートの速報値を共有する。

・福祉ワーキングを10月24日にオンライン開催する。15名参加。重心及び医療的ケア児者の実態調査のアンケートの実施とシンポジウムの開催に関して話し合う。また、各事業所からの情報提供と近況報告を行う。施設入浴支援・放課後等の支援等に関する検討課題の意見交換を行う。

・アンケートシンポ事務局会議を12月2日に集合で1月開催に向けて実行委員8名で検討を行う。各生活介護事業所の運営状況と養護学校の進路状況の共有を行う。

・進路調整ワーキングを12月14日にオンライン開催、10名参加。

・アンケートシンポ事務局会議を1月16日に集合で開催、12名参加。アンケート・シンポジウムの進捗状況、リレートークの確認、実態調査の報告及びシンポジウムに関して確認する。

・大津市医療的ケアシンポジウムを1月26日に会場とオンライン開催。会場とオンライン参加で230名参加。① 大津市長 開会挨拶 ② 重症心身障害児者及び医療的ケアを必要とする方の実態調査報告 ③ 当事者および保護者によるリレートーク「医療的ケアを必要とする人の大津での暮らしの現状とこれからへの願い」④ 座談会 「大津市でその子らしく、その人らしく暮らし続けるために」（座長：口分田政夫（びわこ学園医療福祉センター草津施設長）・当事者、保護者、市内の支援機関、行政担当者が登壇）

・医療連携ワーキングを2月6日にオンライン開催、11名参加。各機関の最近の状況報告及び医療的ケア児者や重症心身障害の方の支援での課題報告をする。また、滋賀県内と大津市の情勢報告、重心及び医療的ケア児者の実態調査のアンケートの実施とシンポジウムの開催に関する報告と、事例検討を行う。

・福祉サービスワーキングを3月1日にオンラインで開催、10名参加。事業所近況報告と自立支援協議会から報告をする。また、重心及び医療的ケア児者シンポジウムについて報告をする。施設入浴支援について話し合う。

課題等	<p>昨年度開催した大津市医療的ケアシンポジウムにて以下の提言を行う。</p> <p>提言１・地域の中で本人らしい暮らしや社会参加ができる体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の保育園や幼稚園、学校を利用できるための体制確保 ○喀痰吸引のできるヘルパー及び車椅子車両での送迎にも対応した移動支援事業所の拡充、医療的ケアにも対応できるグループホームの整備 ○災害時の避難体制や備品確保の整備 <p>提言２・介護者等の負担軽減と就労及び社会参加の促進にむけた体制作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療的ケアがあっても対応できる保育の場の整備 ○家族に頼らない通学保障の充実 ○入浴支援や医療的ケアにも対応できる日中一時支援や放課後等デイサービスの拡充 ○レスパイトとしての医療的ケアにも対応した短期入所の拡充 <p>提言３・医療的ケアの方を地域で支えるネットワークづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療的ケアの方の継続的な実態調査 ○医療的ケアに関する市民向け、支援者向けのシンポジウムや研修会の定期的な開催 ○重症心身障害及び医療的ケア児者支援協議会でのネットワーク構築、社会資源整備に向けた検討 ○医療機関とのネットワーク構築と地域で暮らすための体制整備
-----	--

⑩ 北部ネットワーク協議会

部会長：黒川 真友（おおつ福祉会法人本部・伊香立の杜）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・2か月に1回、偶数月の第2月曜日の午前に伊香立の杜で開催 ・大津市の北部で支援をしている事業所の課題の共有と今後の資源整備に関して検討を行う。 ・各分野別（就労、精神の方の支援、行動障害を呈する方の日中支援、居住支援、相談支援、居宅介護、児童の支援）に現状把握と課題整理を行う。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉課、大津市湖西側にある障害福祉サービス事業所、障害児者と支える人の会、北大津養護学校の教員及びPTA
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・4月18日にオンラインで開催、23名参加。各事業所の状況報告と課題の共有を行う。また、北部の資源整備の状況確認と今後の役割について話し合う。 ・10月17日にオンライン開催、23名参加。協議会からの報告と北部の資源整備に関して、各事業所の現状報告を行う。 ・12月19日にオンラインで開催する。20名参加。協議会からの報告及び、資源整備に関して、また、各事業所の現状報告を行う。 ・2月27日にオンライン開催、23名参加。協議会からの報告と、北部の資源整備に関して（グループホーム）の報告を行う。また、各事業所の現状報告と、各事業所からみた北部に必要と思われる今後の資源整備について話し合う。

⑪ 南部これから検討会

部会長：中崎 ひとみ（共生シンフォニー） 藤木 充（しが夢翔会）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月に1回奇数月の第1水曜日の午後にステップ広場ガルで開催 ・大津市の南部で支援をしている事業所の課題の共有と今後の資源整備に関して検討を行う。 ・各分野別（就労及び移行支援、重心の方の日中通う場、精神の方の支援、行動障害を呈する方の日中支援、居住支援、相談支援、居宅介護、児童の支援）に現状把握と課題整理を行う。 ・大津市南部の通所事業所で送迎の共同運行の取り組みを検討。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉課、大津市南部にある障害福祉サービス事業所、障害児者と支える人の会、草津養護学校進路担当及びPTA
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・7月6日にオンラインで開催、21名参加。大津南部の就労支援の状況報告（咲くら：平山真司氏）と大津南部の就学前の児童の現状報告（やまびこ相談事業所 石川孝子氏）を行う。また各事業所の現状と課題、施策や資源整備の情報共有を行う。 ・9月7日に集合（共生オフィス）とオンライン開催、17名参加。自立支援協議会、草津養護学校 PTA から報告を行う。また、南部の事業所報告2回目としてクオケアより状況報告を行う。参加者より近況報告を行う。 ・11月9日にオンライン開催、15名参加。各事業所より近況報告を行う。また、ステップ広場ガルの状況としが夢翔会の多機能拠点の整備に関しての報告を行う。 ・1月11日にオンラインと集合で開催、23名参加。情勢報告と自立支援協議会及び共生シンフォニーより報告を行う。また、参加者より近況報告と共同送迎に関して話し合う。 ・3月8日にオンラインで開催、15名参加。情勢報告と美輪湖の家大津の取り組み報告を行う。

⑱ 差別解消部会

部会長：中川 佑希（障害者差別のないおおつをめざす会代表）

副部会長：石黒 賀津子（大津市障害児者と支える人の会）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回程度開催。 ・参加団体及び大津市の地域アドボケーターからの報告、合理的配慮の事例集及びバリアフリーチェックの検討、災害時の対応に関する研修会の企画等を行う。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・大津市ろうあ福祉協会、障害者差別のない大津をめざす会、視覚障害者協会、身体障害者更生会、滋賀県大人の発達障害者の会、高次脳機能障害友の会、大津市障害児者と支える人の会、ピアサポート WISH、滋賀県難病連大津支部、、法テラス、生活支援センター、オアシスの郷、障害福祉課
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・7月26日に集合で開催、22人参加。参加者からの活動報告と合理的配慮事例集の作成に関して、また、差別解消地域支援協議会に関して話し合う。 ・10月12日に集合開催、19名参加。参加者自己紹介（各団体の活動近況報告など）、部会長より障害者差別解消に伴う国の動きに関する情報提供およびめざす会より活動報告を行う。また、大津市より合理的配慮の事例集の作成と個別事例の収集に関して、大津市バリアフリーチェックに関して報告する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・12月14日に集合で開催する。20名参加。団体の活動近況報告をする。部会長より障害者差別解消に伴う国の動きに関して、強制不妊訴訟の動きについて話し合う。めざす会、活動報告地域アドボケーターより報告を行う。大津市より、合理的配慮の事例集の作成と個別事例の収集に関して大津市バリアフリーチェックに関して報告を行う。JR西日本の駅の無人化問題に関して話し合う。 ・1月31日に会場で開催、26名参加。参加者紹介と情報提供及び活動報告をする。また、大津市からの報告とJR西日本の無人駅化問題に関して、災害に関する研修会に関して話し合う。 ・3月23日に集合で開催、17人参加。参加者自己紹介、各団体の活動近況報告を行い、情報提供し合う。また、合理的配慮の事例集の作成と個別事例の収集に関してと、次年度の部会運営に関して話し合う。
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・大津市では差別解消支援地域協議会を設置して、年数回協議会を開催。協議会の運営や検討内容に関して部会で検討を行う。 ・部会で大津市の障害者差別の現状と課題の共有、事例収集や広報啓発に向けた取り組みを継続して行っている。

⑱ 人材育成部会

報告者：坂本彩（自立支援協議会事務局）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・大津圏域の障害福祉を担う人材の育成と質の向上のための研修の企画運営を行う。
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・5月10日おおつ合同新人研修会をオンライン開催、27名参加。第1回、「対人援助とは（講師：大津市障害者自立支援協議会 坂本彩氏）」・「大津の障害福祉（講師：大津市障害者自立支援協議会 松岡啓太氏）」 ・5月24日おおつ合同新人研修会をオンライン開催、28名参加。第2回、「大津の障害福祉就労支援」（講師：大津市障害者自立支援協議会 松岡啓太氏・おおつ働き暮らし応援センター 森田美樹氏） ・おおつ合同新人研修を6月7日に行う。集合で開催、21名参加。第3回「身体障害のある方への支援」についての研修を行う。（講師：地域生活サポートセンターじゅぷ 染井将仁氏・オフィスゆうき 中川祐希氏。）・研修検討委員会を6月10日に集合で開催、6名参加する。自己紹介と前回出たアイデアの具体化をする。 ・7月5日おおつ合同新人研修「虐待防止研修・基礎の基礎」をオンラインで行う。43名参加。講師：大津市障害者虐待防止法センター、伊関信博氏・オフィスゆうき、中川祐希氏。 ・7月8日 社会資源をうまく使い楽しく生きるための学び&相談会を集合で開催、5名参加。障害福祉サービスを利用（検討）している小学1.2年生の保護者を対象に「1学期を過ごして今気になっている事」についてグループワークを行い、相談支援専門員と一緒に考える。 ・8月5日におおつ合同新人研修をオンライン開催する。29名参加。精神障害のある方への支援について、講義、体験談、ピア活動の紹介、グループワークを行う。講師：オアシスの郷・柿田多恵氏、ピアサポートWish・くみ氏、福山勝広氏。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8 月 22 日に新 1 年生説明会を集合とオンラインで行う。37 名（内スタッフ 9 名）参加。放課後の過ごし方について（放課後等デイサービス・日中一時支援）説明する。 ・ 8 月 26 日にやまびこゼミを集合とオンラインで開催する。12 名参加。里親ファミリーホーム元藤氏より、ホームを運営して見えてくる児童福祉の分野の仕組みについて・北大津養護学校進路担当藤田先生より高等部の進路指導の現状について、それぞれ報告と質疑応答を行う。 ・ 9 月 9 日に集合とオンライン開催、141 人参加。（集合 14 名・オンライン 47 名・後日動画配信 80 名）虐待防止研修としてアタッチメントを学ぶ。講師：NPO 法人レジリエンス代表 中島幸子氏 ・ やまびこゼミを 10 月 28 日に集合で開催、12 名参加。「親」について考える。題材は「パートナー間の関係について」と、障害のある人の暮らしの場をどう考える？「家族になりたい」 ・ 11 月 21 日にアサーション研修を集合で行う。28 人参加。講師：栗本敦子氏
--	---

㊹ 子ども部会 就学前グループ

部会長：小川 ことゑ（やまびこ園・やまびこ教室）

部会概要等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児期の制度やサービス利用にあたっての課題の整理 ・ 乳幼児期の制度、施策の見直し・検討
参加者	健康推進課・子ども発達相談センター・やまびこ園（教室）・わくわく・のびのび子育て総合支援センター・幼児政策課・保育幼稚園課・やまびこ相談支援事業所 障害福祉課・児童クラブ課・学校教育課・教育相談センター・民間児童発達事業所
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9 月 15 日 集合開催 新 1 年生説明会の状況の報告。民間の児童発達支援事業所のケースの事例検討 ・ 12 月 16 日 集合開催 新 1 年生説明会の結果報告。民間児童発達支援事業所の事例検討。相談支援連絡会で上がっていた両親に知的障害のあるケースの場合、子どもの障害や進学についての説明理解のサポートが必要なケースの検討。 ・ 3 月 17 日 集合開催 就学前の障害福祉サービスの利用について。民間児童発達支援事業所のケースの事例検討
検討課題	<ol style="list-style-type: none"> ① 発達支援システム等の再構築について ② 医療的ケア児・重心児に対する課題の共有と具体的な取り組みについて ③ 相談支援事業所のあり方検討について ④ 民間発達支援事業所との連携強化に向けた方策検討について

㊺ 放課後事業所連絡会

部会長：野間 紀彦（放課後等デイサービス 『風和々～ふわわ～』）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大津市でサービスを提供している放課後等デイサービス、児童を対象にした日中一時支援事業所が参加。 ・ 事業所同士の近況報告および制度や支援方法等に関する情報交換会や研修会を開催。 ・ 「支援の質の向上」を目指して以下のことを大切にしてい取り組む ・ (1) 学校との連携
------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・ (2) 地域全体の課題の中での自分たちの役割 ・ (3) 人材育成のための研修（事例検討、交流研修会）
参加者	・ 大津市をサービス提供地域とする放課後等デイサービス事業所、児童を対象にした日中一時支援事業所
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月13日オンライン開催、28人参加。本年度の体制についてと、議論したいことについて話し合う。また、研修案内をする。 ・ 7月8日にオンライン開催、22名参加。【管理者向け】 集団指導の内容確認と本年度の体制、素案検討を行う。 ・ 9月9日にオンライン開催、22名参加。アンケートについて報告と話し合いを行う。 ・ 11月11日に集合とオンラインで開催（@大津市勤労福祉センター5階）、28人参加。部会体制確定・発達相談ができる機関のリスト・今後の予定の確認を行う。また、「放課後支援のこれからについて」座長：立命館大学 田村教授の講義を開催する。 ・ 1月13日に集合とオンラインで開催、会場27名・オンライン5名参加。不登校児の福祉サービスの利用について話し合う。また、部会体制報告とBCPプロジェクト報告を行う。グループワーク（BCPについての意見と防災についての情報共有） ・ 3月10日に集合27人参加、オンライン3人参加で開催する。事業所一覧の確認と来年度の内容（BCP・虐待）を検討する。また、重富様より、発達相談の視点からの話を聞く。
課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後等デイサービス及び日中一時支援の質の向上 ・ 地域の学校や相談支援事業所との連携強化。

㉔ 学齢期トライアングルグループ

代表 中島 悟（教育支援センター）

部会等	情報シートを作成して学齢期における「福祉」「学校」「家族」の連携を深める
参加者	大津市教育委員会学校教育課教育支援センター、晴嵐小学校、仰木中学校*大特連代表 滋賀県立北大津養護学校、草津養護学校、滋賀大学附属特別支援学校 ぐっどらいふ・ぐっどたいむ、ハーフステップ（石塚）、フレンズ、みゆう、風和々、 放課後等デイサービスゆにこ、相談ぐっど、らん相談支援事業所、 大津市発達障害者支援センターかほん、相談支援事業所ひびき、自立支援協議会事務局、 大津市障害福祉課
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月28日に集合開催。こども部会アンケート「学齢期の相談窓口について」の結果について報告と意見交換、各機関、学校、事業所での連携の課題に関して意見交換を行う。 ・ 11月16日に集合開催、16名参加。新1年生の4/1～入学式までの間に放課後デイを利用する際の証明についての話し合いを行う。また、各機関、学校、事業所での連携の課題について話し合う。
検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育と福祉との連携強化に向けた取り組み ・ ライフステージで切れ目ができない支援体制の整備。

㉕ 当事者部会

部会長：乾澤 正和（身体障害者更生会）

部会概要等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不定期開催 ・ 大津市障害者福祉センターに入っている各当事者団体が集まり、障害者施策に関する各団体の意見や要望についての共有
参加者	大津市身体障害者更生会、大津視覚障害者協会、中途失調難聴者協会大津支部、滋賀県脳卒中者友の会「淡海の会」、滋賀県難病連絡協議会大津支部、大津市障害児者と支える人の会、オストミー協会、ろうあ福祉協会、湖の子会、障害者スポーツ協会、
開催状況	・ 開催なし
検討課題	

3. プロジェクト会議報告

①移動支援プロジェクト

代表：染井 将仁（地域生活サポートセンターじゅぶ）

部会等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2か月に1回程度開催。 ・ 大津市の移動支援の在り方に関し検討を行う。昨年度はグループ支援や送迎支援に関して意見交換を行う。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ①相談支援事業所：じゅぶ、いるか、生活支援センター ②移動支援事業所：かがやき（ヘルプ協代表）：寺田、ゆいヘルパーステーション、福祉会ヘルプ、スマイルケア、サポート楽 ③障害福祉課
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月27日にオンラインで開催、8名参加。障害福祉課より移動支援見直しの進捗報告をする。また、各事業所より報告と意見交換を行い、今後のプロジェクトの進め方に関して話し合う。 ・ 8月24日にオンライン開催する。8名参加。前回の振り返りを行う。また、グループ支援のあり方に関して、利用対象者の拡大に関して、今後のプロジェクトの進め方に関して話し合う。 ・ 10月26日に集合開催する。7名参加。前回の振り返りとアンケート結果について話し合う。また、グループ支援の在り方と利用対象者の拡大に関して話し合う。

②日中一時支援プロジェクト

代表：越野 緑（みゆう）

部会等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後等デイサービスの事業所が増えたのに伴い、児童に関しては軽度の知的障害の方の日中一時支援の利用は減っているが、一方では成人の方の通所後の夕方や週末の余暇の過ごしとしての利用の希望が増えている。また、現行の日中一時支援の制度では行動障害や重症心身障害の利用者を受け入れるための職員体制の確保や新規事業所の参入も困難であり、希望しても利用が困難な状況もある。そこで、大津市における今後の日中一時支援の在り方を検討して、それに添う制度の見直しを行い、日中一時支援事業所の拡充を目指す
-----	--

参加者	<p>①相談支援事業所：相談支援事業所みゆう、</p> <p>②日中一時事業所：あんど、おおつ福祉会、Brah-art、カラーズ、藤樹会、明日香の里、ベスティ、IL ガーデン</p> <p>③行政：障害福祉課</p>
開催状況	<p>・4月14日にオンラインで開催、13名参加。各事業所の活動紹介とアンケート速報値の共有をする。</p> <p>・6月9日にオンラインで開催、13名参加。各事業所の活動紹介と話題提供、グループワーク（アンケートの感想とアンケートから見て取り組みたい事・ワークショップで意見交換したいこと）を行う。また、事業所向けワークショップの開催に関しての案について話し合う。</p> <p>・10月19日に集合開催、30名参加。日中一時事業所アンケートの報告を行う。また、重症心身障害の方の日中一時支援の状況報告（びわこ学園障害者支援センター所長 二宮裕香氏）と、クオケアにおける日中一時支援の取り組み（クオケア所長 山田俊也氏）の報告を行う。</p> <p>・1月11日に障害児者の支える人の会の保護者と意見交換会を行う。</p> <p>・2月2日にオンライン開催、10名参加。10月意見交換会の振り返りをする。また、1月保護者ヒアリングの報告と、日中一時支援の今後の在り方に関して意見交換を行う。</p>
最終目標	<p>・大津市における多様なニーズに対応する日中一時支援の在り方の確認とそれに対応する制度の確立</p> <p>・重度重介護の方の利用がより進むための事業所への加算の創設</p> <p>・当事者向けおよび事業所向けの日中一時支援ガイドブックの作成</p>

③訪問型生活介護プロジェクト

代表：山口 俊一（ひまわりはうす）

部会等	<p>・訪問型生活介護事業のニーズ調査</p> <p>・ひまわりはうすのモデル事業の利用者取り組み状況の共有と意見交換</p> <p>・訪問型生活介護事業の制度化に向けた検討</p>
参加者	<p>①相談支援事業所：生活支援センター</p> <p>②生活介護事業所：ひまわりはうす、おおぎの里（日中支援部会部会長）</p> <p>③行政：障害福祉課</p> <p>④教育：市内の特別支援学校</p> <p>⑤オブザーバー：大津市発達障害者支援センターかほん</p>
開催状況	<p>・5月26日にオンライン開催、8名参加。事業の対象者の状況共有と今後の取り組みに関して意見交換を行う。</p> <p>・1月24日にオンライン開催、8名参加。ひまわりはうすで現在支援をしている対象者の取り組み内容の報告と新規利用希望者の状況共有を行う。</p>
検討課題等	<p>・大津市における訪問型生活介護事業の実施に向けた制度化</p> <p>・訪問型生活介護の取り組みに関する評価</p> <p>・訪問型生活介護から次の通所施設の利用に向けた検討</p>

④高齢障害者プロジェクト 具体的な支援ワーキング

報告者：坂本 彩（自立支援協議会事務局）

部会等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2か月に1回程度開催。 ・ 支援者から高齢障害の支援で現場困っているケースの事例報告をしてもらい、課題解決に向けた事例検討を行う。その際に専門職にも入ってもらい助言をもらう。 ・ 高齢障害者の支援に関する障害福祉現場の底上げのための研修会の開催
参加者	<p>しが夢翔会（及川 NS、小池生活支援員）、 おおつ福祉会（黒川、倉田相談支援専門員）、 ケアマネ協（堀内、山本、細見）、 近江笑生会（富岡）、大津市障害福祉課（立仙）、 やまびこ支援センター（加納 OT、野村相談支援専門員） 大津市障害者自立支援協議会事務局（坂本）</p>
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10月6日にオンライン開催する。11名参加。チェックリストをつけてみでの意見の共有を行う。また、最近あった出来事の報告と、プロジェクトの今後について話しあう。 ・ 2月28日に集合16名とスタッフ9名、オンライン55名（1部のみアーカイブ配信あり）で開催。高齢障害プロジェクト「具体的な支援を考えるWG」報告会を行う。
検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大津圏域の障害福祉サービス提供事業所の高齢障害者の支援に関する支援の底上げ ・ 高齢になった障害当事者の方に必要な支援を届けるためのネットワークの構築。

⑤高齢障害者プロジェクト 介護保険連携ワーキング

報告者：松岡啓太（自立支援協議会事務局）

部会等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2か月に1回程度開催。 ・ 介護保険の移行や利用が円滑に進むための仕組みづくり ・ 障害支援や障害福祉に関するケアマネの理解、介護保険に関する障害分野の理解を促進するための研修会の開催
参加者	<p>障害福祉課、長寿政策課、あんしん長寿相談所、大津市介護支援専門員協会 大津市権利擁護サポートセンター、みゆう、じゅぷ、ひびき、QUOCARE、ブリッジ</p>
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月16日に集合・オンラインで開催、15名参加。会議の目的共有と、相談支援事業所からの事例報告を行う（じゅぷ・生活支援センター）。また、ケアマネへのアンケート結果報告と介護保険と障害福祉の連携に関する研修会に關しての報告を行う。 ・ 8月10日にオンライン開催する。10名参加。介護支援専門員との連携と権利擁護について参加者で話し合う。 ・ 11月14日にオンラインで開催。北部エリアの相談支援専門員と介護支援専門員を対象とする。62名参加。介護保険分野と障害福祉分野の支援者の連携に関する研修を行う。テーマは権利擁護で地域生活サポートセンターじゅぷと大津市権利擁護サポートセンターあさがおより報告をしてもらい、10グループに分かれてグループワークを行う。 ・ 11月22日にオンラインで研修を開催。南部エリアの相談支援専門員と介護支援専門

	<p>員を対象とする。38名参加。内容は11月14日の北部エリアと同じ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月7日にオンラインで開催。12名参加。11月の研修の振り返りと、研修から見えてきた課題とそれに対するアプローチを検討する。 ・3月15日にオンラインで開催。14名参加。介護支援専門員協会より介護保険と障害福祉のサービスを併給している事例の検討を行う。
検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・大津圏域の障害福祉サービス提供事業所の高齢障害者の支援に関する支援の底上げ ・高齢になった障害当事者の方に必要な支援を届けるためのネットワークの構築。

⑥バックアッププロジェクト会議

代表：元藤 大幹（美輪湖の家大津）

部会等	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の障害分野の事業所の連携強化とバックアップを強化する取り組みを行うことで、大津市の障害分野の事業所の質の向上と連携強化を図り、障害のある方が地域で安心して自分らしく暮らし続けるための支援を受けられる大津の構築を目指す。 <p>①サービス管理責任者大津圏域研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大津市内の障害福祉事業所の連携と質の向上を目指して、サービス管理責任者現任研修を福祉指導監査課の集団指導と併せて2016年度から2018年度にかけて、毎年1回独自に開催してきた。市内のサービス管理責任者を配置している事業所が集まり、意思決定支援や連携や人材育成に関して議論をしてきた。国のサービス管理責任者の研修体系の見直しで実践研修が立ち上がったのでいったん終了としていたが、市内の事業所の質の向上のための連携強化のために研修会を年1回開催する。 <p>②サービス評価のツール提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度から障害福祉サービス等の情報公開制度が創設されるのにあたり、大津圏域でも全ての障害福祉のサービス事業に関して、大津市のスタンダードとなる基準と要件を作成して、自己評価、利用者評価、第三者評価を行い、事業所の質的向上及び市民が福祉サービスを選ぶ判断材料となる物を作るべくスタンダードプロジェクトを立ち上げて議論してツールを開発した。市内の事業所でサービス評価を希望する事業所に対してツールを提供して、自己評価と利用者評価を実施していただく。 <p>③事業所へのフォローアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存事業所（社会福祉法人を中心に）が新規参入の事業所のバックアップを行う。 ・新規事業の立ち上げの際の実習や情報提供の協力 ・新規事業所がケース対応や運営で困った時にどこがフォローしてくれるかの案内 <p>④事業所間職員交流</p>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・愛育苑、咲くら、共生シンフォニー、オフィスコシキ、障害福祉課、福祉指導監査課
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・11月28日にオンラインで開催。今後の取り組みに関して意見交換を行う。 ・1月11日にオンラインで開催。福祉指導監査課と意見交換を行う。

⑦BCP策定プロジェクト

報告者：松岡啓太（自立支援協議会事務局）

部会等	・業務継続計画については令和6年3月31日までに策定する必要があるが、大津市が策定状況の調査を行なったところ、261事業所中32事業所が策定している状況である。策定していない事業所の未策定理由として、「策定にあたる職員が不足している」、「策定が必要なことを知らない」、「策定の進め方がわからない」という回答があった。ついでには、策定を後押しするためのひな型や研修会の開催等が求められている。そこで大津市内の障害福祉事業所の業務継続計画の策定を円滑に進めるためのひな型を策定と研修会の企画運営を行う。
参加者	障害福祉課管理係、ヘルプ事業所協議会代表、放課後等支援代表、おおつ「障害者の生活と労働」協議会代表、自立支援協議会事務局
開催状況	10月27日に集合で会議開催。5人参加。BCP策定に関して参加者より現時点での課題等の意見交換を行う。 11月～12月：ヒアリングを受けてのひな型を障害福祉課と事務局で策定 1月10日に集合で開催。6人参加。BCP作成支援ツールひな型案をメンバーにみてもらい、意見交換を行う。 2月21日に集合で開催。6人参加。BCP作成支援ツールの説明を行い、ツールの活用するにあたっての課題に関する意見交換や研修会の企画運営の検討を行う。 3月17日に集合で開催。6人参加。次年度のBCP作成支援にあたっての取り組みに関して意見交換を行い、予定を立てる。

⑧文化プロジェクト（今年度からヨコヨ Lab の取組みとして位置づけ）

代表：（小石哲也）（まちかどプロジェクト）

部会等	・下記3点を目標にイベントの企画運営を検討する。 ①障害のあるなしで線引きしないシームレスな表現活動のフェスティバルの開催。プロもアマチュアも参画しながらワイワイ楽しく集まる場を作る。 ②障害当事者が文化にアクセスして楽しむことのできるような取り組み。文化に直接触れることを求める人もあれば、文化を見るだけでの人も当然いる。それぞれの人のニーズに合わせての参画ができるような取り組みにしていく。 ③短期的には今ある地域の既存のイベントに事業所や障害者団体も参画してコラボを積み重ねながら、長期的にはプロジェクト発信でのイベントの開催を目指す
参加者	まちかどプロジェクト、ブラフアート、おおつ働き暮らし応援センター、オフィスゆうき
開催状況	・4月12日にオンラインで開催、6名参加。今後のプロジェクトの流れについて話し合う。 ・6月28日に集合で開催、8名参加。現状報告と今後の文化プロジェクトの展開について話し合う。 ・10月7日に集合開催、3名参加。プロジェクトについて話し合う。 ・11月3日にまちかどプロジェクトのメンバー2人が大津市の湖岸で開催された催事のステージにて手話歌の発表を行う。記録係等5人が参加する。 ・2月7日にオンライン開催、8名参加。令和5年度以降の文化プロジェクトについて話

	し合う。
--	------

4. 各種運営委員会報告

①自立生活支援ホーム運営委員会（自立生活支援ホームが今年度閉所されるのに伴い委員会は廃止）

報告者：坂本 彩（自立支援協議会事務局）

部会等	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月に1回程度開催 ・大津市にある自立生活支援ホーム「桜野ホーム」、「第2桜野ホーム」の入居者の支援状況の確認と今後の入居希望者の状況に関して共有と入居調整を行う
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・自立生活支援ホーム担当者、障害福祉課、ひびき、生活支援センター、おおつ働き・暮らし応援センター、ひなた、大津市社会福祉協議会
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・現在男性3人、女性3人が利用。
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・4月21日にオンラインで開催、14名参加。2022年度の委員会の流れ（案）について、現状気になっていることなどを話し合う。 ・6月16日にオンラインで開催、12名参加。女性3名・男性4名の事例検討を行う。 ・10月20日にオンライン開催、10名参加。利用者の現状確認と認識について話し合う。 ・12月15日にオンラインで開催する。10名参加。入居者の状況（男子2名・女子1名）について話し合う。 ・2月16日にオンライン開催、10名参加。利用者男性1名、女性1名についての現状確認と、今後の方向性の確認を行う。また、自立支援ホームは6月で閉所になることの確認を行う。

②権利擁護委員会

部会長：（大津市権利擁護サポートセンター）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の権利擁護に関わる問題を弁護士等の司法関係者とともに検討する。 ・必要に応じて不定期開催。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・大津市権利擁護センター、滋賀県権利擁護センター、障害福祉課、あさがお、大津市社会福祉協議会、やすらぎ、みゆう、法テラス、弁護士、自閉症・行動障害サポートセンター
開催状況	3月17日集合で開催。親族後見人の対応に関するケース検討を実施。

③住まいの場のとりまとめ会（2023年度からは基幹相談調整センターで運営）

報告者：松岡 啓太（自立支援協議会事務局）

部会等	<ul style="list-style-type: none"> ・下記の場合に利用者の入居調整のため、住まいの場の取りまとめ会を開催する。 ① 大津市民間障害児（者）社会福祉施設整備費補助金を受けて整備した事業所の新規開設及び定員に空きが出たとき ② 日中サービス支援型ホームの新規開設及び定員に空きが出たとき ③ ①以外の事業所で新規開設及び定員に空きが出たときに住まいの場の取りまとめ会の開催を事業所側が求めた場合 ・取りまとめ会の構成委員は障害福祉課の担当者、相談支援機能強化事業所の主任相談支援専門員とする。また、障害福祉課が要請した専門支援機関の担当者を構成メンバー
-----	--

	とする。
参加者	・ 障害福祉課、相談支援機能強化事業所
開催状況	①ラポール4か所のホーム13人の枠に対して9人エントリー。 ②伊香立の杜 男性1人枠に対して10人エントリー。 ③住倉大津 男性10人、女性10人の枠に対して、女性6人、男性17人エントリー。 ④グループホームひまわり 男性7人、女性7人の枠に対して、29人エントリー。 ⑤ラシエル南滋賀 女性10人の枠に対して、11人エントリー

④相談支援機能強化会議（2023年度からは基幹相談調整センターで運営）

報告者：松岡 啓太（自立支援協議会事務局）

部会概要	・ 機能強化事業所（生活支援センター、みゆう、じゅぶ、オアシスの郷）が集まり、大津の相談支援体制について協議。
参加者	生活支援センター、みゆう、じゅぶ、オアシスの郷、大津市障害福祉課
開催状況	・ 4月19日にオンラインで開催、7名参加。モニタリング検証のすすめ方について意見交換を行う。また、当事者活動のサポート事業の進め方について、個別SVの進め方についてと部会運営について話し合う。 ・ 7月20日オンライン開催、8名参加。相談体制の再編機能強化の業務について話し合う。 ・ 3月7日にオンラインで開催、6名参加。新年度の相談体制、機能強化事業について話し合う。また、基幹調整センターについて、研修検討委員会について話し合う。

⑤モニタリング検証（2023年度からは相談支援機能強化事業で運営）

報告者：松岡 啓太（自立支援協議会事務局）

部会概要	・ 相談支援の質の向上を目指して、相談支援専門員を対象にモニタリングに関する検証を実施。昨年度は9回実施。1回あたり1時間半～2時間。1回あたりの参加者は平均10人程度。ケースの選定は各相談支援事業所に現在は任せる形。
開催状況	5月：生活支援センターより医療的ケア児のケース。家族支援と本人の意思決定に関して オアシスの郷より精神障害の方のケース。家族全体へのアプローチに関して 6月：じゅぶより重症心身障害児のケース。モニタリングの方法と本人の意向確認 みゆうよりロングショットの知的障害の方のケース。毎月モニタリングについて 8月：Quocareより聴覚障害と知的障害のある障害児のケース。モニタリング報告書の書き方、生活やエンパワメントの視点に関して、 9月：ひなたより高齢の知的障害の方のケース。将来の支援を見据えたモニタリングの方法に関して 11月：木戸相談支援事業所より学齢期の障害児のケース。本人の思いをどうくみ取るか？ 12月：相談支援事業所トモより単身世帯をしている知的障害の方のケース。健康管理へのアプローチ方法に関して 2月：やまびこ相談支援事業所より就学前の障害児のケース。家族支援とサービス利用の アプローチに関して

⑥相談支援研修検討委員会（2023年度からは基幹相談調整センターで運営）

報告者：松岡 啓太（自立支援協議会事務局）

部会概要	中堅の相談支援専門員が、自分たちが学びたい内容を企画し、実施する。
参加者	生活支援センター、みゆう、ひびき、オアシスの郷、ひなた
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・4月8日にオンラインで開催、5名参加。自己紹介と、今年度取り組みたい研修について話し合う。 ・10月14日に集合開催、5名参加。自己紹介とチーム作りに大切な語録づくりワーク研修に向けて話し合う。最後に年間計画を立てる。 ・12月14日「言葉の意味をそろえよう研修」を開催 ・2月7日にオンライン開催、5名参加。「言葉の意味をそろえよう研修」の振り返りを行う。また、新年度に向けて取り組みたいことと、次回について話し合う。
現状	R5年度は新しいメンバーを加えて、研修内容を考えていく。

⑦JJP

報告者：松岡 啓太（自立支援協議会事務局）

部会等	<ul style="list-style-type: none"> ・2カ月に1回の頻度で会議を開催。 ・当事者が自分で自分のお金を使えるように、様々な研修会を企画する
参加者	大津市障害者虐待防止センター、ブラフアート、セレンディップ、社会福祉協議会、オフィスゆうき、くれおカレッジ、自立支援協事務局
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・4月20日に集合で開催、5名参加。自己紹介、「お金」にまつわるトラブルやいいことの報告をする。また、集合以外でできる「お金」にまつわる研修のアイデアについて話し合う。 ・6月15日に集合で開催、4名参加。アンケート実施内容（高等部・事業所の方に「お金に関係する困りごと」について）話し合う。 ・8月17日にオンライン開催する。5名参加。アンケート実施内容について最終の話し合いを行う。 ・10月19日に集合とオンラインで開催する。5名参加。アンケート実施について具体的な方法について話し合う。 ・12月21日に集合で開催する。6名参加。自己紹介とアンケート実施についての進捗状況について話し合う。 ・2月15日に集合開催、6人参加。自己紹介をして、アンケートの結果について話し合う。